

目次	・新年のご挨拶	… 1	・有料老人ホームについて	… 5
	・臨床研修について	… 2	・鍋料理のススメ	… 6
	・創立50周年式典及び祝賀会について	… 3	・新入職員紹介、編集後記	… 7
	・部署紹介	… 4	・外来診療表	… 8



新年のご挨拶

病院長 矢野 智彦

あけましておめでとうございます。
皆様と共に、初春を慶びたいと存じます。

平成28年が病院にとりまして更なる飛躍の年でありま
すように祈念致します。

昨年は病院創設50周年にあたり来し方を振り返り、今
後50年に願いと覚悟を新たにす年でした。これまでの
9カ月の病院の成績は総じて昨年には及びませんでした
が、下半期に入り、巻き返しが図れているところです。

取り組み状況といたしましては、外来：総合診療内科を
設置予定にしています。透析センター：好調です。人工透
析は満杯で、コンソールを4台増設する予定です。PTA数
も40を越えシャント手術を見据えています。糖尿病セン
ター：SATシステム、フットケアやCGMが活躍しています。
世界糖尿病デーin菊池では「くまモン」と「ころうくん」が来
てくれ大変賑わいました。

人事に関しましては、リハビリ：OTを2名補充しました。
地域包括ケアをはじめ、診療内容の充実を図る予定です。
健診部門は：大略昨年並みで、今後は保健指導に力を入
れていく予定です。教育面でも、当院も少しでも臨床研修
に役立ちたいと考えて、日本糖尿病学会の認定教育施設
と、熊本大学医学部附属病院群の卒後臨床研修病院の
認定を受けており、日本透析医学会の研修では国立病
院機構熊本医療センター群の教育関連施設として4月1
日より認定予定です。

更に、準備を進めているSPDシステムも今年中には導
入できると思います。「きくち在宅医療ネットワーク」のまさ
かの時の後方支援の役割が増えるのではないかと思っ
ています。また、今後の病院の方向性は地域のニーズに
応えるように、介護療養病室廃止・療養病棟の全体とし
ての縮小/一般病室及び地域包括病室の増加を行い、延い
ては回復期病棟設置を計る方向で検討を重ねています。

また、今後やるべきこととして整理しますと、当院の機
能維持と発展のあるべき姿と課題：病院の理念・基本方
針に沿って職員各自がそれぞれの立つ位置で各々の役
割発揮に精進すること。そしてそれが組織的にできるよ
うなシステムを構築すること。

1) 断らない医療体制の構築

- ① 会員や前方支援の基幹病院からの紹介患者の主治医
決定はルールを決め適正な診療環境を整える。
- ② 会員や前方支援病院との連携強化を定期的に図る。
- ③ 菊池医療圏の「きくち在宅医療ネットワーク」を支える
拠点として機能する。また、そのための具体的対策を
構築し明文化しておく。

2) 良質な医療提供のため職員の協働体制の再構築と 運用を図る。

- ① 質の確保をどうするか？ 仕組みの構築・役割分担が必
要か？
- ② 各部門の機能や役割発揮の内容に関して評価の方法
が明確でない。
- ③ 評価の仕組み作りが必要。
- ④ 病院年報を整備する。

3) 今後の社会情勢、特に医療情勢の変化を先取りした 組織改革が必要。

- ① 現状分析の基に、各部門の中長期計画を立てて、年間
の着地点を明確にした計画書の作成と実施・評価及び
次年度に向けた課題を年度末に提出。
- ② 診療報酬改定の予測の下に、当院の病床管理や病床
区分の効果的・効率的な運用方法の提案・提示の能力
を向上させる。
- ③ 病院経営に関する重要情報入手ルートが不足している。

4) 情報管理室を立ち上げ、他との比較・目標を設定/到 達/維持/発展させ得る資源：{人・もの・金・情報}に 関するモニタリングした情報が必要。

協力型臨床研修病院 に指定されました

副病院長 豊永 哲至



医師は6年間の医学部教育のみでは、知識・技術・経験・人格を兼ね備えたいわゆる診療を任せられる医師には到達しません。そこで医学部卒業後の研修が重要となってきます。

卒業後の初めの2年間の研修を初期臨床研修といい、それ以降の研修を後期臨床研修といいます。この初期臨床研修は、平成16年から義務化されました。それまでは初期臨床研修は努力義務とされ、将来進む診療科をまず決め、その診療科にて専門的な研修が卒業後すぐに開始されることが一般的でした。この従来の研修システムの欠点は、医師に広く必要とされる一般診療についての経験が得られないことや、医師が都市部に集中してしまうことなどでした。

このため義務化された初期臨床研修では、診療に従事しようとする医師は2年以上の一般的な幅広い疾患に対応する臨床研修を必要とし、その期間は臨床研修に専念することが求められることになったのです。この臨床研修は、臨床研修病院という指定された病院において、教育指導を目的とした専門の講習を修了した指導医の下で行われます。各臨床研修病院は病院の特色にあわせた独自の研修プログラムを持っていますが、初期臨床研修の理念である基本的な診療能力を修得するという観点から、内科・救急・地域医療はプログラム上の必修項目となっています。研修医はその研修プログラムに沿って診療を経験しながら成長して行くのです。

平成27年9月に当院は熊本大学医学部附属病院群卒後臨床研修プログラムの地域医療を研修する協力型臨床研修病院に指定されました。地域医療研修は2年目に行うことになっており、急性期病院では経験できない一般疾患診療の他、医療と福祉（介護）と保健が一体化して提供される地域包括ケアを経験・修得することが目的です。

当菊池医療圏では、菊池都市医師会等により「きくち在宅医療ネットワーク」という医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネージャーなどの医療や介護に携わる多職種がスクラムを組んだ先進的なチーム医療推進体制の構築に取り組んでいます。このため当院にてこれから地域医療を研修する初期研修医は、患者・家族を中心として行われる医療・介護・生活支援・予防が融合した新しい包括ケアについて学び、また、地域住民との温かい触れ合いや豊かな自然環境を経験できることとなります。地域医療研修を当院にて行った研修医は必ずや強い感銘を受け、その後の医師人生においてかけがえの無い経験となるのではないかと思います。

私たちもこの機会に医師会の先生方をはじめとして、コメディカルスタッフや行政などと協力して、若い医師を育てる使命を果たしていかなければなりません。



[臨床研修病院指定証]

News

菊池郡市医師会立病院

創立50周年記念式典・祝賀会開催

[平成27年11月15日(日)]

平成27年11月15日(日)、菊池郡市医師会立病院は創立50周年記念式典及び記念祝賀会を挙行了した。

式典には約100名が出席。当医師会の岩倉会長が「さらに医療技術のレベルを上げ、地域から信頼される病院を目指したい」と挨拶した後、福島熊本市医師会会長、江頭菊池市長から祝辞をいただき、矢野病院長が創立50年の歩みを振り返りました。

記念講演では、荒木栄一熊本大学大学院代謝内科学教授、向山政志熊本大学大学院腎臓内科学教授の講演が行われ、出席者は熱心に耳を傾けていました。



[福島会長]

[江頭市長]

[荒木教授]

[向山教授]

引き続き、開催された祝賀会では、福田熊本県医師会会長、坂本衆議院議員、馬場参議院議員、前川県議会議員、池田県北広域本部保健福祉環境部長から祝辞をいただいた後、碓野菊池郡市薬剤師会名誉会長のご発声により乾杯が行われました。最後に宮川菊池郡市歯科医師会会長によって万歳三唱が行われ幕を閉じました。



[福田会長]

[坂本議員]

[馬場議員]

[前川議員]

[池田部長]

[碓野名誉会長]

[宮川会長]

～菊池郡市医師会立病院のこれまでの歩み～

昭和36年、国民皆保険が実現した頃、菊池市で医師会病院開設の動きが起こり、昭和37年12月、病院建設がスタートしました。その頃、武見太郎日本医師会会長から当医師会に医師会病院のあり方について訓辞がありました。公益性、共同利用、医学の進歩への対応、住民福祉等を勘案しながら病院建設や運営にあたることになりました。

昭和40年9月10日、菊池郡市医師会立病院が開設。診療科目は内科・整形外科、病床数は55床で業務を開始しました。[写真1]は開設時の病院正面玄関前からの写真です。左が病室です。この日の入院患者は1名でした。[写真2]は開設時の記念写真です。総員32名で医師2名、正准看護師11名でした。夜には医師会員が順番で当直をされたそうです。

昭和45年に温泉を利用したリハビリを開始、2年後の昭和47年に新病棟(第2病棟)[写真3]が完成しました。

昭和52年には、へき地医療への貢献に対し日本医師会から最高功労賞を受賞[写真4]しました。



写真1



写真2



写真3



写真4

昭和57年に新病棟(本館)[写真5]が完成し、翌年の昭和58年に人工透析医療[写真6]を開始しました。

平成21年頃より、病棟の耐震力不足などが問題となり、新築移転が検討され、平成24年10月1日に移転しました。新病院[写真7]は菊池郡市の人口重心よりやや北西に寄った菊池市の南西部位置します。124床の病室と48床の透析センター[写真8]、糖尿病センターとリハビリテーションを備えています。

「かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆様に信頼され、愛される病院を目指す」ことを病院理念として、今後も更に励んで参りたいと考えております。



写真5



写真6



写真7



写真8

部署紹介

4階病棟



4階病棟は、主に急性期・循環器疾患を持つ患者さまに対応している病棟です。病床数は36床、そのうち5床はICUとして緊急の入院にも対応できるようにしています。

患者さま、ご家族には、急な入院により様々な不安を抱えておられる事と思います。患者さまやご家族の想いに耳を傾け、速やかな情報の共有を図り、入院中患者さまの療養が安全で安心して進むようチーム医療の充実に努めています。

また、入院中だけでなく退院後もおひとりお一人の患者さまの日常生活にスムーズに移行できるよう共に考えながら『つなぐ看護』の提供に努めています。

病棟スタッフは経験豊富な中堅看護師が中心となり、受持看護師を中心に固定したチームナーシングのもと若手からベテラン看護師が一丸となり『笑顔と元気と行動力』をモットーに、患者さまが安全で安心した療養ができる看護の確実な提供を目指しています。

まだまだ、不十分で行き届かないところもあると思います。患者さまやご家族とのコミュニケーションを大切に臨んで行きたいと考えております。



▲ 薬剤のダブルチェック



▲ 点滴の安全確認



▲ ミーティングの様子

有料老人ホームって何？



地域医療連携科

現在、高齢者向けに多種多様な施設が提供されています。
中でも有料老人ホームという言葉は、以前に比べ耳にする機会が多くなったと思います。
今回は有料老人ホームについて説明します。
有料老人ホームは大きくわけて2つあります。

① 特定施設入居者生活介護 介護付き有料老人ホーム

県・市より特定施設入居者生活介護の認定を受けた介護サービスの付いた
高齢者向け居住施設です。 **介護サービスはホーム職員が提供します。**



② 住宅型有料老人ホーム

安否確認や生活相談などのサービスが付いた高齢者向けの賃貸居住施設です。
**介護が必要となった場合は、ヘルパー、デイサービス等、外部の介護サービス
を利用しながら、施設での生活を続けることができます。**

有料老人ホームは施設によって特色があります。
一度見学に行かれることをお勧めします。
施設は本人にとって家の代わりになります。
長期的なプラン(看取りや医療行為など)を立て、本人
に「どのような生活を送ってほしいのか」を考えつつ、
検討するといいいでしょう。



鍋料理のススメ

栄養科

忘年会や新年会、誘惑がたくさんありましたね。誘惑に勝った方・負けてしまった方それぞれいらっしゃると思います。大切なのはここでしっかり手綱を引き締めて普段の生活に戻ることです。そこで、バランスもとりやすいお鍋は、おすすめのメニューです。次のポイントを押さえて、体重増加を食い止めましょう。

1 糖質を意識する

- ・麺類や雑炊は多くなりがち。
- ・ご飯や麺よりもカロリーの低いのはるさめにするのもオススメ！
- ・麺の代わりに白滝を使うとほぼ0カロリー。



2 野菜・きのこはたっぷり食べましょう

- ・最初に食べましょう。
血糖値の上昇が緩やかになります。
- ・たくさん食べても低カロリー。
- ・塩分に含まれるナトリウムを体外へ排泄するのに役立ちます。



3 汁は少なめで

- ・体が温まるからとスープをたくさん飲むと塩分の摂りすぎに！
- ・×の雑炊は汁を吸っているのほどほどに。

4 そのほかにも...

- ・みんなでつつく鍋は食べた量が把握しにくい。
- ⇒ゆっくり会話を楽しみながら食べましょう。食べ過ぎ防止になります。

Introduction of new staff

新入職員紹介 (1月付)



医師事務作業補助者
西川 由里香

趣味・特技 温泉、着付け

子育てに奮闘中です。仕事も笑顔で頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



健診 看護師
稲留 絵梨

趣味・特技 買い物、お菓子作り、
スキューバダイビング

10年前に准看の学生でお世話になっておりました。また医師会病院に帰ってくる事ができてうれしく思います。頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



検査営業
山本 汐莉

趣味・特技 読書

笑顔で頑張ります。
よろしくお願いいたします。



編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。

お正月はいかがお過ごしになりましたか？楽しい休日の時間はあっという間に過ぎ、新しい年の幕開けとなりました。

今年の干支は、申年ということで大変縁起が良い年です。申年というのは、昔から、難が去る(さる)、病に勝る(さる)などと言われており、仕事においても勝る(さる)ことができるように、職員一丸となって、目標達成に突き進んでまいります。

最後に、今年一年皆さまに良い御縁(猿)がありますように、ご祈念申し上げます。

菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	松田 浩治	信岡 謙太郎	松田 浩治	豊永 哲至 信岡 謙太郎		豊永 哲至 松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也 豊永 哲至	田口 哲也		矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大 循環器科	古賀 敏
	新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大 循環器科	石坂 浩	
腎臓内科	午前					緒方 智博	
	午後		(主)植田 美紀 (副)緒方 智博				
消化器内科	午前			検査のみ (熊大 消化器科・他)	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ	検査のみ (済生会熊本病院)	検査のみ	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸 中川 雅貴 (熊大 放射線科)	本田 伸	本田 伸	中川 雅貴 (熊大 放射線科)

外来受付時間：午前8時30分から午前11時30分

診療時間：午前9時から午後12時

※午後の腎臓内科は予約制となります。

※検査は予約制となります。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・チーム医療と地域連携に努めます
- ・より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 矢野 智彦

